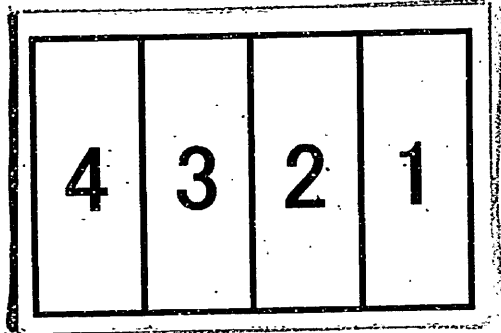


分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	第十三師團 上陸状況一覽表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

1379
1380
1381
1382

1620

別紙第一

第十三師團上陸状況一覽表

部隊名	上陸開始日時	上陸終了日時	上陸實施状況
歩兵第百三旅団司令部 涯山碼頭	十月一日 午前九時	十月一日 午後一時三十分	揚陸ハ概ネ円滑ニ實施セルモ材料ノ宿營地運搬器材不足ノ為支障ヲ來シ辛ウシテ聲力ヲ以テ搬送セシ狀況ナリ其他異狀ナシ
歩兵第百四聯隊 第十四砲台司令部 揚陸場 大連汽船會社碼頭	十月一日 午前九時三十分	十月一日 午後四時十分	人員ノ上陸ヲ先ニシ馬匹荷物卸下ラ後ニス 人員ノ上陸及馬匹ノ卸下ハ予定通り實施セラレタルモ荷物ノ卸下ハ數量過大ノ為稍混雜ヲ生シ卸下終了ノ時刻予定ヨリ遅レタル狀況ナリ
歩兵 第六五聯隊 虬江碼頭	第一次 (十月三日午前九時三十分) I(-7) 1A 第二次 (十月四日午前九時) II(-7.10) 1A	第一次 (十月四日午後五時) 第二次 (十月四日午後五時)	上陸ノ二日ニ亘リタルハ虬江碼頭ノ狹隘ニ依ル 十月三日午後二時十分浦東地區ヨリ發射セシ砲彈ニヨリ兵士數員傷レ他ニ海軍兵營以下五名ノ戦死・四名ノ負傷者ニ出セリ 上陸後宿營地迄輸送機關不足ノ為荷物ノ宿營地運搬ハ十月五日午後二時概々完了ス
歩兵第三十六旅団司令部 大阪商船 棧橋	人員 十月三日午後五時三十分 荷物馬匹 十月三日午前六時	人員 十月四日午後五時四十分 荷物馬匹 十月三日午前八時	異狀ナシ
歩兵 第百十六聯隊 大連埠頭棧橋 日本郵船會社 埠頭棧橋	人員 十月二日午後三時四十分 馬匹荷物 十月二日午後四時	人員 十月三日午後七時 馬匹荷物 十月三日午後二時	異狀ナシ
歩兵 第五八聯隊 大阪商船 日本郵船 大連汽船 各埠頭棧橋	人員 十月三日午後三時 馬匹 十月三日午後四時 諸材料 十月四日午前七時	人員 十月三日午後四時 馬匹 十月四日午前十時 諸材料 十月四日午前十時	異狀ナシ
師團通信隊 上海碼頭	十月一日 午前十時四十分	十月一日 午後一時五十分	異狀ナシ
騎兵 第十七大隊 虬江碼頭 吳淞第五 埠頭	第一中隊一部 吳淞第五埠頭上陸 十月四日午前八時 第二中隊主力 虬江碼頭上陸 十月四日午後五時 大隊主力 十月五日午後二時	第一中隊一部 十月四日午後二時 第二中隊主力 十月四日午後十時 大隊主力 十月五日午後二時	上陸時敵砲行機ノ爆撃ヲ受ケ人馬ノ損傷ヲ受ケ

步兵 第五大聯隊		大坂商船 日本郵船 大連汽船 各埠頭棧橋	人員 十月三日午後三時 馬匹 十月三日午後四時 諸材料 十月四日午前七時	人員 十月三日午後四時 馬匹 十月四日午前十時 諸材料 十月四日午前十時	異狀ナレ
師團通信隊		上海 碼頭	十月一日 午前十時四十分	十月一日 午後一時五十分	異狀ナレ
騎兵 第十七大隊		虬江碼頭 吳淞第五 埠頭	第一中隊一部 吳淞第五埠頭上陸 十月四日午前八時 第二中隊主力 虬江碼頭上陸 十月四日午後五時 大隊主力 十月五日午後二時	第一中隊一部 十月四日午後二時 第二中隊主力 十月四日午後十時 大隊主力 十月五日午後二時	上陸時敵砲行機 ノ爆撃ヲ受ケ人馬 ノ損傷ヲ受ケ
山砲兵 第十九聯隊		聯隊本部 (大連棧橋) 第一大隊 大連 大坂商船棧橋 第三大隊 日本郵船棧橋 大阪商船棧橋 第二大隊 聯隊後列 吳淞棧橋	本部 十月三日午後四時 但シ燈火管制實施 施ノ為同七時一旦 中止 第一大隊 十月三日 午後五時三十分 開始同七時一旦 中止 四日午前九 時再開 第三大隊 十月三日 午後六時三十分 開始同七時一旦 中止 四日午前九 時再開 第二大隊 十月四日午前土時	本部 十月四日 午後八時三十分 第一大隊 十月四日午後四時 第三大隊 十月四日 午後四時三十分 第二大隊 十月四日 午後四時	上陸中浦東方面ヨリ 敵小銃彈飛來シアリタ ルモ何等損傷ナレ 聯隊後列ハ二隻ニ分乘セ シテ以テ人員ト馬匹ト配 當ニ自ラ制限区署セラレ上 陸直後ノ集積場ヲ據ニテ 大ノ困難ヲ感ゼタリ
工兵 第三聯隊		吳淞砲台棧橋	十月四日 午前八時三十分	十月四日 午後三時	異狀ナレ
新村部隊		海關第一棧橋 砲台棧橋 虬江碼頭 鐵道棧橋 上海	八聯隊本部 第一中隊主力 十月五日午前十時 海關第一棧橋 第二中隊一部 砲台棧橋上陸 十月五日午前九時 全 午前土時 第三中隊主力 虬江碼頭上陸 十月五日午後四時 今日 午後六時五分	各中隊共機不四五隻ニ分 乘セル為同埠頭ニ上陸 スル能ハス 從ツテ上陸後 ノ集結ニ就テハ最も困難 且混雜ヲ来セリ 一船中ニ各兵種混乘セルヲ 以テ格戦却下等ニ関シ不 便一方ナラス	上陸直後ノ宿營人馬飲料 水ノ補充ニ関シハ困難セ シモ吳淞兵站司令部好 意ニヨリ 概ネ適切ニ實 施シ得タリ 増加裝備ノ運搬ニ関シ運搬 力不足ナリ

第四野戦病院	第三野戦病院	第二野戦病院	第一野戦病院	衛生隊	新村部隊									
聞北 虬江碼頭	日本郵船棧橋 虬江碼頭	吳淞第三 鐵道棧橋	吳淞鐵道 第二棧橋	虬江棧橋	海關第一棧橋	砲台棧橋	虬江碼頭	鐵道棧橋	上海	上海陸	第三中隊一部	第四中隊一部	第五中隊一部	第六中隊一部
十月六日 午前八時	十月六日 午前九時	十月五日 午前八時	十月六日 午前八時三十分	十月四日 午後五時	十月五日午前九時 全 午前十一時	十月五日午前九時 砲台棧橋上陸	十月六日午前八時 第三中隊一部	十月六日午前八時 第四中隊一部	十月六日午前九時 上海上陸	十月六日午後一時 海關第一棧橋上陸	十月六日午後一時 第三中隊一部	十月六日午後一時 第四中隊一部	十月六日午後一時 第五中隊一部	十月六日午後一時 第六中隊一部
十月六日 午後二時	十月七日 午後四時三十分	十月五日 午後三時	十月六日 正午	十月四日 午後十一時四十分	十月五日午後四時 全 午後六時三十分	十月六日午後一時 砲台棧橋上陸	十月六日午後一時 第三中隊一部	十月六日午後一時 第四中隊一部	十月六日午後三時 上海上陸	十月六日午後六時 海關第一棧橋上陸	十月六日午後六時 第三中隊一部	十月六日午後六時 第四中隊一部	十月六日午後六時 第五中隊一部	十月六日午後六時 第六中隊一部
部隊一部、他部隊、船 三、分乘上海上陸、九日本 隊ト合入	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ	異狀ナレ

1622

1622

衛生隊	第一野戦病院	第二野戦病院	第三野戦病院	第四野戦病院		
虬江橋	吳淞鐵道 第三橋	吳淞第三 鐵道橋	日本郵船棧橋 虬江碼頭	聞北 虬江碼頭		
十月四日 午後五時	十月六日 午前八時三十分	十月五日 午前八時	十月六日 午前九時	十月六日 午前八時		
十月四日 午後十一時四十分	十月六日 正午	十月五日 午後三時	十月七日 午後四時三十分	十月六日 午後二時		
異狀ナシ	異狀ナシ	異狀ナシ	異狀ナシ	部隊一部ハ他部隊ノ船 舶ニ乗上海ニ上陸シ日本 隊ト合入 概テ順調ニ完了ス		

別紙第二

上軍作命甲第百七號

上海派遣軍命令

九月三十日午後一時
於吳淞軍司令部

一軍當面ノ敵情並軍諸隊ノ態勢別紙要圖ノ如シ
二第十三師團ハ吳淞及上海附近ニ上陸シ約半部ヲ月浦鎮南側
地區ニ其他ヲ上海東部地區ニ集結シ第十一第九師團中間後
方地區ニ前進スルノ準備ニ在ルヘシ
師團爾後ノ前進地域及補給路等ニ関シテハ別ニ示ス
三軍通信隊ハ軍司令部ト第十三師團司令部間ニ通信網
ヲ構成シ連絡ニ任スヘシ
四予ハ吳淞軍司令部ニ在リ

軍司令官 松井石根

下達法 印刷交付

別紙第三

上軍作命甲二六號

上海派遣軍命令

十月四日午前十一時
於吳淞軍司令部

- 一 第十三師團ハ其上陸セル部隊ヲ以テ十月五日行動ヲ起シ
概ネ馬路塘クリーフニ沿フ地區ヲ前進シ吳家宅(羅店
鎮東方三軒)侯家宅(吳家橋南方四百)郝家宅(侯家
宅東南一軒二百)以東ノ地區ニ集結シ爾後第九師團ノ
右翼後ヲ前進スル準備ニ在ルヘシ
- 寶山城―四塘橋―齊家棚―胡家浜―徐家村―徐家宅
―馬相沿―北沈宅道ハ使用セサルモノトス
- 二 攻城重砲兵第一聯隊第一大隊(第五牽引自動車配
屬スルコト如故)及獨立攻城重砲兵隊ハ十月五日行動ヲ起
シ揚行鎮―劉家行―顧家宅―吳家院道ヲ前進シ第一線兵
團ノ大場鎮及其西方地區ノ敵ニ對スル攻撃ニ協力スル目
的ヲ以テ顧家宅及其南方地區ニ陳地占領ヲ準備スヘシ

下達法 印刷交付

独立工兵第十二聯隊ノ一中隊ヲ協力セシム
 三 独立工兵第十二聯隊長ハ其一中隊ヲ十月五日午前十時劉
 家行西側十字路ニ派遣シ第二項部隊ニ協力セシムヘシ
 四 予ハ吳淞軍司令部ニ在リ

軍司令官 松井 石 根

別紙第四

月浦鎮附近集結狀況

部隊番号	区分	上陸地出發日時	月浦鎮附近集結完了日時
歩兵第三旅團司令部		十月五日午後八時	十月六日午前十一時
歩兵第百四聯隊		十月五日午後七時三十分	十月六日午前八時
歩兵第百五聯隊		十月五日午後九時	十月六日午前十一時三十分
歩兵第二十六旅團司令部		十月六日午後八時	十月七日午前十時
歩兵第百十六聯隊		十月六日午後八時三十分	十月七日午前八時
歩兵第五十八聯隊		十月六日午後六時	十月七日午前七時 (但シ聯隊機關銃聯隊砲中隊 六時三十分午後九時)
騎兵第十七聯隊		十月六日午前八時	同日午後四時
山砲兵第十九聯隊		上海出發 第三大隊(十月六日午後八時) 聯隊本部觀測班 (十月七日正午) 第二大隊(十月七日午後七時) 吳淞出發 第三大隊聯隊段列 (十月六日午後五時三十分)	十月八日午前七時
工兵第十三聯隊		十月五日午前八時	同日午後五時
輜重兵第十三聯隊		本部(六日午前九時) 第一中隊(六日午前十時) 第二中隊(八日午前九時) 第三中隊(七日午前十一時) 馬廠(八日午前十一時) 第四五六中隊(上陸地ヨリ 行動開始)	同日午後一時三十分 同日午後四時三十分 十月八日午後五時三十分 十月七日午後七時三十分 十月八日午後六時三十分
師團通信隊		十月五日午後八時	十月六日午後四時
衛生隊		十月五日午前八時	同日午後七時
第一野戰病院		十月六日午後三時	同日午後六時三十分
第二野戰病院		十月五日午後十一時	十月六日午前九時
第三野戰病院		十月七日午前九時	十月七日午後五時三十分
第四野戰病院		十月八日午前八時	十月八日午後五時
第四野戰病院		十月七日午前八時四十分	十月九日午後五時

別紙第五

上軍作命甲第百二十一號

上海派遣軍命令

十月六日午後三時
於吳淞軍司令部

一、第十一師團八目下楊家村（羅店鎮西方一軒半）北周宅
姚家宅、郭家宅、北宅、南朱宅、蔣家宅、陳宅、蘇家
宅、萬年橋、北梅宅ノ線 第九師團八騎兵聯隊ヲ以テ
南梅宅ヲ占領シ右翼隊（步兵第三大聯隊（一大隊欠）基
幹）ヲ以テ新木橋、槽網灣、楊家宅ノ線左翼隊（步兵
第六旅團基幹）ヲ以テ魔橋頭、朱三房東側、陸家橋
郭宅ノ線ニ進出シ攻撃手續行中ナリ

二、第十三師團長ハ步兵約一聯隊、山砲兵約一大隊ヲ基
幹トスル部隊ヲ十月七日早朝北朱店（羅店鎮東南三
軒）附近出發概テ十月八日拂曉マテ槽網灣（含ム）以北
第九師團ノ部隊ト交代シ南梅宅、新木橋、槽網灣含

一、線ニ於テ廣福及其以南ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備セシムヘシ
 攻撃開始ノ時機ハ軍ニ於テ指示ス
 右交代及第十一第九師團作戰地境內ニ於ケル行動竝
 補給路ニ關シテハ同師團長ト直接協定スヘシ
 三、予ハ吳淞軍司令部ニ在リ

軍司令官 松井 石 根

下達法要旨ヲ電話後印刷交付

別紙第六

一三師作命甲第十八號（正軍作命甲第一〇號）

第十三師團命令

十月六日午後四時三十分
於 季 家 網

一廣福南北、線ハ敵ノ一部ヲ占領シアリ

第十一師團及第九師團ノ一部ハ萬年橋附近ヨリ新木橋
附近ヲ經テ魔橋頭附近ニ且ル線ニ前進シアリ

二師團ハ一部ヲ新木橋附近ニ先遣シテ爾後ノ前進ヲ準備セズ

三歩兵第百三旅團長ハ歩兵第百四聯隊山砲兵第二大隊工

兵一小隊衛生隊三分一併セ指揮シ明十月七日朝宿營地

出發第九師團作戰地域内ヲ前進シ南梅尾ヨリ新木橋ヲ

經テ槽綱灣ニ且ル線ヲ占領シ第土及第九師團ノ關係部
 隊ト交代シテ廣福附近ノ敵陣地ニ對テ攻撃ヲ準備スヘシ
 四師團通信隊ハ旅團前進ニ伴ヒ師團司令部ト旅團司
 令部間ニ有線並無線通信網ヲ構成スヘシ
 五糧秣ニ日分ヲ十月八日正午何家店（李家綱西方約二料）
 ニ於テ師團輜重ヨリ補給ヲ受クヘシ
 六予ハ現在地ニ在リ

第十三師團長荻洲立兵

下達法

旅團長及步兵聯隊長ニ口達後關係部隊ニ印刷交附

1631

別紙第七

軍事機密

昭和十二年十月九日

戦闘ニ關スル教示 (續其二)

第十三師團司令部

戦斗ニ関スル教示(續其二)

一、小銃射撃ヲ特ニ夜間射撃ニ就テ

小銃射撃ハ乱射ヲ戒メ白兵主義ニ徹底スルヲ要ス之レ目

標ヲ確認セサル射撃ハ効果ナキノミナラス却ツテ我カ位置ヲ

敵ニ知ラシムル事ナリ 損害ヲ大ナラシムルモノナリ 特ニ夜間ニ於

ケル射撃ハ之ヲ戒マシムルヲ要ス

二、敵ノ夜襲ニ対スル處置

我カ部隊カ敵陣地ヲ奪取セシ場合若ハ他部隊ト交代シテ

第一線ノ配備ニ就キタル場合敵ハ夜襲シ来タルヲ例トシ其ニ

シキハ一夜ニ數回反覆スルコトアリ 敵夜襲ノ方法ハ盛ナル射撃ヲ

四、前進ノ要領ニ就テ

敵陣地ノ編成ト師團將末ノ前進地画ヲ研究スルニ敵歩砲

ヲ發シ末ルヲ普通トス故ニ敵ノ突入ニ方リテハ我ハ敵ヲ刺突スル
ヲ以テ最良ノ手段トス

三、敵軍ノ穴大敷手ニ対スル處置

機ニ於テ一基ヲ猛射ヲ加ヘテ敵ヲ敷手滅スルノ手段ニ出スルヲ要ス
ニ我ハ射敷手ヲ戒シムルヲ要ス然ル時ハ敵ハ後退ヲ始ムルニ至ル比ノ
トス之カ爲メ敵ノ夜籠衣ヲ受ケ射敷手ヲ蒙ル場合ニ於テモ嚴
ヲ行ヒ陣地直前ニ来リ喚声ヲ基手クルモ穴大入シ末タデサルヲ例

兵火爲ノ斜射側射ヲ蒙ル虞大ナルト敵陣地ノ偽装ハ極
メテ巧ニ實施セラレアルヲ以テ各部隊ノ前進ニ方リテハ小部隊毎ノ
區分前進ニ依リ特ニ敵陣地前ニ於テハ匍匐前進ニ依リ以テ無
益ノ損害ヲ避クルニ努ムルヲ要ス

五、工事ノ利用ニ就テ

敵陣地ニ對スル攻撃手準備特ニ敵ニ逼近シ我砲兵ノ射撃手効果
ヲ利用シ砲彈膚接シテ敵陣地ニ突入スル場合並ニ敵ノ斜射
側射ニ對シ無益ノ損害ヲ減少スル爲メ第一線歩兵ハ工事ヲ利
用スルヲ極メテ必要ナリ之カ爲メ各隊長ハ之カ利用ニ努メシムルト共
ニ及面攻勢ノ氣勢ヲ躊躇セシムルカ如キ事ナラシムルヲ要ス又本部司

令部ニシテ第一線ニ近キモノアリテハ必要ニ應ジ掩蔽部ヲ構築スル無
益ノ損害ヲ避クルト共ニ指揮機能ヲ破壊セラレサル如ク注意スルヲ
要ス

六、支那軍ハ我國旗並ニ萬歳ノ運用ニ就テ

支那軍ハ我カ軍ノ砲兵射撃ヲ終リ之ニ直接シテ行ハルヘキ
歩兵ノ突撃ヲ直前我カ國旗ヲ振り又ハ萬歳ヲ高唱スルコト
アリ之カ爲メ歩兵部隊ハ敵ニ欺騙セラレ突撃ヲ直前多大損
害ヲ蒙リシ例アリ特ニ留意シテ要ス

又支那軍ハ我カ國旗ヲ使用スルナリ紙ノ國旗ヲ使用スルコトアリ
参考トス

七、兵特ニ幹部ノ次女勢ニ就テ

敵ハ狙撃手ニ努ムルミナラス其陣地ハ斜射側射ニ適スル如ク編成
セラレアルヲ以テ兵及幹部ノ次女勢ハ運動射撃及指揮ニ支障
ナキ如ク努メテ低カラシメ以テ無益ノ損害ヲ避クルヲ要ス

偽装衣ニ就テ

偽装衣ニ對スル諸隊ノ注意モ末々徹底セズ即チ幕舎人馬車輛等
ノ偽装衣ヲ完全ナラシムルト共ニ分散配置ニ關シ尚一層徹底實現
施スルヲ要ス

八、部下ノ掌握ト兵力ノ派遣ニ就テ

師團集結地域内ニ於テ各部隊ノ傳令部隊大行本子等ニシテ

自己ノ到ルヘキ地矣、時刻、任務ヲ的確ニスルコトナク無爲ニ行動セルモ
ノアリ各隊長ハ部下ノ掌握ヲ確実ナラシムルト共ニ兵力ノ派遣ニ
方リテハ地矣、時刻、任務ヲ的確ニ命スルヲ要ス

九、各隊ノ師團ニ対スル連絡及報告ニ就テ

諸隊ノ師團ニ対スル連絡及報告ノ提者ハ極メテ不良ナリ諸隊ハ
宜シク積極的ニ師團司令部ニ連絡スト共ニ迅速且正確ニ諸報
告ヲ呈スルヲ要ス特ニ報告ニ方リテハ各時期ニ於ケル諸隊ノ態勢決
心、部署、将来ノ企図等ニ於テ然リ而シテ印刷命令ハ少クモ三部
之ヲ提者スルヲ要ス

十、敵ノ内應者ノ取扱ニ就テ

敵軍中ニハ我軍ニ対スル相當數ノ内應者アルモノ、如シ之カ爲メ内
應者アリタル時ハ之ヲ射殺スルコトナク、武装解除ノ上少數人員ナルト
キハ師團司令部ニサ護送シ多數ナル時ハ一地ニ集結監視シ師
團司令部ニ報告スルヲ要ス

右ハ軍ニ於テ利用スルノ企図ヲ有シ又内應者ハ手ヲ揚ケ且ツ上衣ノ
下端ヲ裏返シスル(上衣ノ裏ニハ黄布ヲ附ス)ヲ以テ我軍ニ対スル合図
トナスヲ以テ部下諸隊ニ徹底セシムルヲ要ス

(註)本項ハ軍ノ認識錯誤ニシテ斯ルモノ終ニ遭遇セザリキ

土捕虜ノ取扱ニ就テ

捕虜ノ利用取扱等ニ関シテハ昨ハ日師團情報収集要領ニ於テ

十二 馬匹ノ管理、衛生ニ就テ

指示セシモ多数ノ捕虜アリタルトキハ之ヲ射殺スルコトナク、武装解除ノ
 上一地ニ集結監視シ、師團司令部ニ報告スルヲ要ス。又捕虜ガ半
 將校ハ之ヲ射殺スルコトナク、武装解除ノ上、師團司令部ニ保護
 送スルヲ要ス。此等ハ軍ニ於テ情報収集ノミナラス、宣傳ニ利用ス
 ルモノナリキ。此ノ点部下各隊ニ徹底セシムルヲ要ス。但シ少数人員ノ
 捕虜ハ所要ノ尋問ヲ爲シタル上、適宜處置スルモノトス。

馬匹ノ繫系キ方手入、衛生ニ就テハ一收ノ注意ヲ必要トス。即チ馬匹元
 末ノ素質不良ニシテ、労役又甚シキミナラス、馬匹ハ補充困難ナルノ
 現況ニ在リ而ガモ、補給ノ爲メハ収束要ナル輸送機関ナルヲ以テ、馬匹ノ

管理及衛生ニ就テハ各隊長ニ於テ細心ノ注意ヲ拂ヒ之カ徹底ヲ期スルヲ要ス。特ニ馬匹ノ飼共ニ就テハ于草ヲ共フルヲ要ス。

十三、補給ニ就テ

各隊ハ彈藥及糧秣ノ現況報告ヲ勵行シ司令部トノ連絡ヲ密ナラシムルト共ニ其ノ大行木子及小行木子駄馬ヲ活用シ以テ補給ノ円滑ヲ期スルヲ要ス。

十四、通信隊ノ保護ニ就テ

通信隊ノ保護ニ対スル各部隊ノ注意ハ極メテ不可ナリ。即チ道路ノ一側ニ敷置シアル被覆線ヲ部隊又ハ傳令平然トシテ之ヲ踏ミ或ハ馬匹之ヲ切斷スルモノ少カラス。

交通不便ナル本戦場ニ於テハ通信ノ迅速確實ヲ期スルハ極メテ必要ナリ各隊長ハ通信線ノ保護ニ就キ將兵一徹ニ注意ヲ喚起スルヲ要ス

十五 將校ノ肩章ヲ脱スル件ニ就テ

敵ハ我カ將校ヲ狙撃スルニ努ム之カ爲メ敵ヲ欺騙スル爲メ各隊長ニ於テ將校(准尉ヲ含ム)ノ肩章ヲ脱セシムルハ必要ナリ

然レ共將校ニシテ下士官又ハ兵ノ肩章ヲ使用シアルモノアルハ不可ナリ

別紙第八

上軍作命甲第百二十七號

上海派遣軍命令

十月十日午後五時
於楊家宅軍司令部

一 第士師團ハ其左翼ヲ以テ十月十一日ヨリ唐家宅（新木橋
北方ニ在リ）北梅宅、南梅宅ノ線ヨリ當面ノ敵ヲ攻撃スル
筈

第九師團ハ十月十日魔橋頭北邵朱三房北端、須宅南
邵朱三房南端頓悟及其東南約六百米無名部落盛
宅、玆塘北宅北方約三百米ノ線ニ進出シアリ

二 軍ノ企圖如故

三 第十三師團ハ步兵約一旅團及砲兵隊主力ヲ基幹トスル兵
力ヲ以テ新木橋東側附近ヨリ櫓網灣附近ニ亘ル線ニ展
開シ準備出來次第速ニ當面ノ敵ヲ撃破シ先ハ家橋東
端清水顧ノ線ニ進出シ第九師團ノ右側ヲ以テ突入シ

現ニ南梅宅附近ニ在ル部隊ハ速ニ第十一師團ノ部隊ト交代セシムヘシ

右攻撃ニ使用セサル部隊ハ顧宅（淑里橋東南一軒）向家店曹家巷ノ線以東ノ地區ニ在リテ爾後ノ前進ヲ準備セシムヘシ 砲兵展開及補給ノ爲主トシテ月浦鎮―東張宅―西毛巷―李家宅―田宅道ヲ又一部月浦鎮―羅店鎮―劉家行―新木橋道ヲ使用スヘシ

四 第十一、第十三、第九師團間ノ戰鬥地境ヲ左ノ如ク定ム
線上ハ右師團ニ屬ス

第十一、第十三師團間

新木橋西端以北第十一、第九師團間作戰地境ノ線及八柴橋東端ヲ連ヌル線

第十三、第九師團間

楊家樓（劉家行西南二軒）東南端、清水顧北端ヲ連ヌル線

五、軍砲兵隊ハ其一部ヲ以テ現陣地ヨリ老陸宅（新木橋南方
一軒三百）新陸宅附近ノ敵陣地要點ヲ射撃シテ第三頃
第十三師團ノ攻撃手ニ協力スヘシ

六、独立工兵第一聯隊ハ主力ヲ以テ依然上軍作命甲第
百二十號ニ基ク任務ヲ續行スル外一部ヲ以テ適時軍砲兵
隊ノ陣地占領ニ協力スヘシ

七、第百一師團ニ第十師團 架橋材料中隊ノ小隊ヲ配属ス
第十師團架橋材料中隊長ハ右部隊ヲ朱家（寶山城
南方一軒）——吳淞鎮——楊家宅——金家祠堂——廟村——
錢家灣（楊行鎮南方一軒半）道ヲ前進セシメ十月十一日
午前中ニ錢家灣ニ於テ第百一師團長ノ指揮下ニ入ラシ
ムヘシ

八、予ハ楊家宅軍司令部ニ在リ

1645

下達法

要旨電話後印刷交付

軍司令官

松井石根

別紙第九

一三師作命甲第三三號

第十三師團命令

十月十日午後七時
於 季 家 網

一第九師團ハ昨日ヨリ陳家行ヲ力攻中ニシテ第十一師團

ハ明日ヨリ吳家宅以北ノ敵ニ対シ攻撃スル筈

二師團ハ左右兩師團ノ攻撃ニ策應シテ十月十二日拂曉ヨリ

老陸宅附近ノ敵陣地ヲ攻略セントス

三山田旅團長ハ新ニ増加配屬スル歩兵第六五聯隊第一大隊

騎兵一分隊山砲兵第十九聯隊（本部及第一大隊並聯隊段

列二小隊欠）工兵第十三聯隊第一中隊（二小隊欠）第二野戰

叛院ヲ併セ指揮シ新木橋西端一八字橋東端ヲ連スル線
以南楊家樓南端清水顧北端ヲ連スル線以北敵陣地
ヲ攻撃シ張家宅ノ宅ノ線ヲ進出スル

線上ハ右ニ屬ス

軍砲兵ノ一部其旅團攻撃ニ協力ス細部ニ関シテハ別命ス

四增加配屬スルギ歩兵大隊工兵中隊及野戰病院ハ歩兵第

六五聯隊第一大隊長ノ区如ク以テ明十日未明宿營地出發

李家綱萬家橋太平橋ヲ經テ陳家宅ハ太平橋南方

半米ニ至リ山田少將ヲ指揮スルハ

五山砲兵隊ハ明土日未明宿營地出奈羅店鎮ヲ經ニ老
 牆底附近ニ至リ山田少將ノ指揮ニ入ルンジ

大本戰團ニ使用シ得キ彈藥ハ一基数ヲ標準トス

七戰團資材ヲ明土日午後四時マテニ丘ノ如ク創家行

ニ於テ交附ス

竹梯子三〇

防彈チヨシキニ〇〇（歩兵一五〇工兵五〇）

八十二日拂曉以後戰團司令所ヲ陳虎ニ推進ス

第十三師團長廿次洲中將

1691

下達法
要旨ヲ
電話
シ後
印刷
セル
モノ
ヲ送
附ス

別紙第十

(第十三師團參謀部印刷十月十日)

第一線ニ待機四日間、教訓

十月十日

於邵家宅 山田少將

一 敵陣地、狀況並攻撃ニ関スル件

一 敵陣地ハ予想外ニ巧妙複雑ニシテ各種自動火器ヲ以テスル
 所謂側防施設、外拒馬ノ一側家屋ノ下橋梁、傍等ニ巧
 ニ配置サレタル單獨散兵坑ニ據ルル銃ノ狙撃亦大ニ注意
 ヲ要スル處ナリ而シテ陣地中主要火器ノ大部ハ掩蓋下ニ在
 リ然リト雖モ敵陣地ヲ大觀スル吾人カ對蘇戰ニ予想スルカ
 *堅固ナルモノニアラス況ンヤ所謂教線陣地ニモアラス敵ノ側防

火器トフリーク通過トノ対策サハ充分ナルヲ得ハ攻撃ノ成功
一舉突破ノ成功左迄困難ナルモノニアラスト確信セラル

2. 敵ノ火網組織ニ対シテハ各級指揮官尙関心度ヲ大ニ速ニ
其ノ判明ニ努ムル共ニ側防火器ノ如キハ発見次第之ヲ要圖
ニ画シテ其配置ヲ周密ニ究明シ以テ各自担任ノ攻撃正
面ニ於ケル敵陣地ノ状態ヲ最的確ニ了解シ以テ組織的ナ
ル遺漏ナキ攻撃計画ヲ立案スルニ段々注意ト努力トヲ要
スルモアリト認ム

3. 敵前ノフリークノ如キを恐れテ居ツテは命がいくら有ツモ足り
ムトハ前上急事変ニモ殊勲ヲ立テシ先遣兵團某大隊

貴當司令部ヲ訪レタル時ノ言ナリ誠ニ味フカ又考フキ言
ト認側防火器ヲ充分押置キテ(必ス側防ノ如置アリト云フ)
徒歩主義ヲ以テ敢然進ムヘキモノト信ス

但シ連日ノ降雨ニ増氷シアリ當正面先遣某大隊如キモ深キカ
リークニ飛込ミテ爾後處置付カス大損害ヲ受ケシ列アリ

茲數日ハ殊ニ此ト云フコトニ對シ深甚ノ工夫ヲ要スル所ナリ

ニ警戒其ノ他

一、第一線部隊ハ尚工事ノ增強(努メテ形式トシニ努メ交通障
蔽設備等ニ関心ヲ大ナラシムルノ要アリ)

旅團待機間ニテ數名ノ損害ノ大部ハ敵迫撃砲彈及砲彈
破片ニ依ル

2、當司令部ハ戰線ヨリ千二百米突アリ然ルモ不聞絶テ小銃彈
ノ落トアリテ夜間ハ殊ニ甚シ而シテ將兵ハ此ノ射撃力敵陣
地ヨリ来ルモノト理解シ得タルハ敵兵ニ盲目ノ朝ナリ從テ第一線
ノ後方本部司令部附近ノ如キ甚タ呑氣ニシテ其行動不
適當徒ラニ損害ヲ受タルモノシカラス先遣兵團ニ於テモ同様
トノコトナルカ戰線ノ後方ニ千余ナル旅團豫備内ニモ小銃彈
ニ依ル損害アリテ毎夜後方部隊人馬ニ員傷ヲ出ス仕未故
充分ノ注意ヲ拂ハムルヲ要アリ

3 後方部隊ト雖モ歩哨ノ如キハ必ス壕ヲ掘リテ其ノ内ニ在ラシムルヲ
 要ス之レ一ツハ其ノ損害ヲ減ジ一ハ歩哨ニ安心ト落付ヲ喫フル爲メ
 リ、又集結部隊モ努メラ分散掩護物下壕内等ニ在リテ敵迫
 撃砲十五榴彈ノ損害ヲ避クルノ注意ヲ必要トス

4 戦線進出ノ第一日特ニ幹部ノ注意ヲ以テ兵ノ沈着ヲ求ムルヲ必
 要ナリ旅團進出第一日諸兵候ニテテ方何ヲ誤リ或ハ敵彈ノ爲メに
 務ヲ果シ得サリシモノ歎カラス(第一日敵彈ノ爲メ前進セサリシ者モ第一
 二日ハ毫ク前進セリ)又兵ハ沈着ヲ欲キ(夕以前ナリキ)誠ニ不面目
 ル所謂戦場ハニツクヲ現出シ敵方止ノ號音ニスラ容易ニ射撃
 ヲ止メサリキ

戦場内ニ各種兵團部隊実ニ錯綜混雑シアリ（新戦場モ同
様ナラン）故ニ自候傳令等ノ交通ニハ余程ノ注意ヲ拂ハシメサル
ハカラス

今師團長閣下ノ御意圖モアリ小銃射撃ニ熟テハ充分ナ
ル注意ヲ拂ハシメタルモ思ヒカラス依テ左ノ如ク規定シタリ

小銃射撃ハ敵ヲ確認シタル場合三十米以内ニ於テ而モ必
要已ムヲ得サル場合限

○燈火焚火ヲ敵ニ見スル時ハ直チニ追撃砲彈ニ見舞ル

（司令部ノ燈火大屋外
（電燈炊事ノ高煙火））故ニ之ハ無遮蔽下外ニ漏ラサル様注意スル
コト絶対ニ必要ナリ

別紙第十一

一三師作命甲第二十五號

第十三師團命令

十月十一日 午後九時
於 季 家 綱

一 歩兵第六十五聯隊（第一大隊欠）騎兵小隊（三分隊欠）及第

四野戰病院ハ歩兵第六十五聯隊長ノ指揮ヲ以テ明十二日

朝宿營地出發蔡寧宅（同部落ヲ除ク）周邊ノ地區

ニ其集積地ヲ推進シテ爾後ノ作戰ヲ準備スヘシ

二 工兵第十三聯隊（先遣隊配屬部隊ヲ除ク）ハ明十二日朝

宿營地出發七房宅附近ニ其ノ集結地ヲ推進シテ前住

務ヲ續行スヘシ

三 師團司令部ノ残餘ハ明後十三日師團副官船坂少佐ノ指揮ヲ以テ宿營地ヲ出發シ蔡家宅ニ前進スヘシ

四 新集結地ニ於テハ夜間露火ノ使用並燈火ノ使用ヲ嚴禁ス

五 新ニ上陸セシ各歩兵聯隊ノ機關銃中隊並聯隊砲中隊ハ明十二日正午迄ニ月浦鎮ニ至リ各其所屬指揮官ノ隸下ニ入ルヘシ

但歩兵第百四聯隊所屬ノモノ八月浦鎮ヨリ山砲兵第三大隊ノ援助ノ下ニ更ニ劉家行ニ向ヒ前進シ在北部老宅所屬聯隊長ト連絡ノ上其ノ指揮ヲ受クヘシ

六山砲兵第三大隊長ハ其ノ駄馬ヲ以テ歩兵第百四聯隊
所屬ノ機關銃中隊並聯隊砲中隊ノ月浦鎮ヨリ第
一線ノ前進ヲ援助スヘシ

七歩兵第六十五聯隊ヨリ道路構築ノ爲歩兵ニ中隊ヲ明
十二日午前十時張家角南端本道上ニ差出シ工兵第十三
聯隊長岩淵少佐ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

八先遣隊及本命令第一項乃至第三項ノ部隊ハ爾今
其大行李ヲ以テ月浦鎮兵站支部ヨリ糧秣ノ補給
ヲ受クヘシ

九予ハ明十二日午後三時陳家皂（劉家行西北方約一

料)戰鬪司令所ニ至ル

各直轄部隊ハ其命令受領者ヲ師團司令部下同

行セシメシ 戰鬪司令所ニ到着後月浦鎮附近宿

營部隊ノ命令受領者ノ給養ハ師團司令部下ニ担

任ス

第十三師團長

荻洲 立兵

下達法

要旨ヲ口達後印刷配布

別紙第十二
一三師作命甲第三十六號

第十三師團命令

十月十日午後九時三十分
於季家網
一本十日到着エル補充員八月浦鎮ヲ中心トシ左ノ如ク宿營ス
ヘシ

但シ工兵第十三聯隊補充員ハ七房宅（劉家行西側約五〇米）
ニ至リ所屬聯隊ニ合スヘシ

歩兵第一四聯隊補充員徐家宅顧家宅油筆宅附近
歩兵第六十五聯隊補充員顧家宅真家宅吳家宅孫家宅

附近

歩兵第三十六旅團補充員歩兵第三十六旅團宿營地區

山砲兵第十九聯隊補充員山砲兵聯隊宿營地區

二佐藤中佐八月十二日早朝出發在吳淞補充人馬ノ行動ニ関シ

區處スヘシ

三各隊ハ補充員ニ對シ步兵聯隊ニ在リテハ將校ニ下士官一〇ヲ山砲兵聯隊ニ在リテハ將校ニ下士官五ヲ標準トシ所要ノ教育要員ヲ殘置シ郷ニ示セル戰場教育要領ニ基キ教育ヲ實施スヘシ但シ工兵聯隊ノ補充員ハ速ニ聯隊ニ招致シ教育ヲ實施スヘシ四師團經理部ハ補充員ノ給養ニ關シ區處スヘシ補給点ハ月浦鎮ニ補充員ハ各聯隊毎ニ天幕其他担送要具ヲ携行シ補給ヲ受クヘシ五予ハ李家網ニ在リ明十二日午後陳家宅（羅店鎮劉家行、道上劉家行北方約一七）ニ至ル

下達法

印刷セルモノヲ交付ス

第十三師團長荻洲中將

別紙第十三

一三師作命甲第ニ号

第十三師團命令

十月十二日午後七時
於陳象宅戰鬥司令所

一山田旅團ハ今朝來新木橋老陸宅ニ亘ル線ニ對シ攻撃中ナリ
 二師團ハ明十三日山田旅團ヲ以テ依然攻撃ヲ續行スルト共ニ逐次
 主力ヲ閉縮シ尔後前進ヲ准テ備セントス

三山田旅團ハ依然攻撃ヲ力行スヘシ

歩兵六十五聯隊歩兵砲中隊ヲ増加ス

四歩兵第六十五聯隊長ハ歩兵砲中隊ヲ速ニ王家橋ニ到ラシメ旅團

長指揮ニ入ラシムヘシ

五月浦鎮附近宿營部隊ハ明後十四日夕マデニ別紙要圖ト如ク轉

宿スヘシ

六予ハ陳象宅戰鬥司令所ニ在リ

9991

下達法印刷交附

第十三師團長萩洲立兵

別紙第十四

一三師作命甲第三十八号

第十三師團命令

十月十三日午後六時
於陳象宅戰鬥司令所

一山田旅團ハ右第一線タル歩兵第百四聯隊第一大隊欠ヲ以テ新木橋
東端ヨリ戴家宅前方約三百米ヲ経テ三家村前方三十米ノ線ニ近
迫シ左第一線タル歩兵第六十五聯隊第一大隊ハ楊家宅西方アリ
一ノ線ニ進出セリ

二師團ハ夜ニ入ルモ依然攻撃ヲ續行セントス

三山田旅團ハ攻撃ヲ促進シ速ニ司令敵陣地ヲ奪取スヘシ

四歩兵第六十五聯隊第一大隊及歩兵砲中隊欠ハ現在地ニ在リテ隨時戰線

ニ加入スル準備ニ在ルヘシ

五予ハ陳家宅戰鬥司令所ニ在リ

第十三師團長 萩洲立兵

999T

下達法印刷配布

1426

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

別紙第十五

一三師作命甲第三十九号

第十三師團命令

十月十四日午後五時
於陳家宅戰鬥司令部所

一山田旅團ニ新ニ兵第十三聯隊第一中隊ノ小隊ヲ増加ス
同小隊ハ午後六時マテニ王家橋ニ至リ山田少將ノ指揮ニ入ルヘシ
二山田旅團明十五日ニ於ケル使用彈藥ハ歩兵砲共ニ一基数トス
三予ハ陳家宅戰鬥司令部ニ在リ

師團長 荻洲立兵

下達法

工兵隊長ニ達後印刷セルモノヲ交附